

よねさとづくり通信 No.146

よねさとづくり協議会
令和4年4月1日発行



地区自治会とよねさとづくり協議会も新年度を迎えました。

コロナの感染状況、ウクライナ情勢など、気が休まりませんが、米里地区でも考えなければいけないことが数多くあります。一人一人が考え、皆で意見を交わすなど、気持ち新たに取り組んでいきましょう。（3月26日開催の決算総会については次号で報告します。）

地域と学校をつなぐものは？

保護者や地域住民が学校運営に参画し、「地域とともにある学校づくり」を進めるコミュニティスクールとして、年3回の学校運営協議会の場を通じて、学校の方針に地域の声を反映させています。

これまででも、田植えや収穫祭など学校行事や授業の中で、地域のボランティアの皆さんが活動してきました。これからは、学校の支援活動にとどまらず、地域に公民館を核とする「地域学校協働本部」を設けてコミュニティスクールと地域づくりを一体的に進める方向性が示されています。



「あなたにとって、米里地区にとって、小学校とは？」

時間はかかるかもしれませんが、いろいろな形で皆さんの意見を集め、方向性を出していく予定です。

地区行事はどうする？

コロナ禍も3年目となり、状況は日々変わってきていますが、地区行事も以前のようにはなかなかできません。と、中止を何度も続けていると、行事開催の意義がわからなくなりそうです。

地区運動会は「感染対策を徹底した安心安全な地区運動会」を目指し5月22日開催の方向で検討していましたが、小学校や体育会等の関係者と協議し、小学校単独開催とせざるを得ないという方針を決定しました。

次は7月に予定している**地区納涼祭**です。地区の皆さんのふれあいを大きな目的としていますが、感染リスクを考慮し、飲食を伴う場合には慎重にならざるを得ません。今までどおりの開催はいずれにしても困難とされます。4月17日の区長部会でも協議しますが、皆さんどう考えますか？ 提案や意見がありましたら、お寄せください。

生活交通はどうする？

2月20日に区長部会を開催し、乗合タクシー「米里線」について区長を通じて意見を集約し、通学や買い物などの利用を想定した運行時刻や運行エリアなどの見直しなど、3月上旬に要望書を提出しました。しかし、利用者がわずかな（増えない）中で存続は厳しい状況です。そのため、地区全体を見渡して生活交通の確保方法を検討する必要があります。小委員会を設け、行政等関係者も交えながら検討を進めていく予定です。



コロナ禍で個人個人のふれあいの機会も減り、同じ米里地区内の様子がわからないこともあります。また、これからの米里地区全体を盛り上げるには、地元を知ることも大切です。そんなことから、各町内会ごとに紹介していただきます。トップバッターは美和区長にお願いしました。

町内会より ～美和～

東西に延びる市道はバス道路です。どんな雪でも除雪車は朝までには必ず走ります。とても助かります。歩くには風が強くて苦労します。そんな美和にも4月になれば水道山に桜が咲きます。行き止まりなので歩きますが、手袋さえあれば寒さはそう気になりません。隣の試験場ときこのセンターの道路沿いの桜がなくなったので、外からは目立ちませんが、よい桜になりつつあります。春の楽しみです。夏には蛍も見ます。1匹2匹が一夜二夜ですが、今年も来てくれたのだとうれしくなります。稲刈りは天候次第ですがいやではありません。実りの秋はそれはそれで楽しみです。今年もありがとうございますと荒神さんと倉田八幡さんに手を合わせると寒くなります。家内安全、平穏無事に過ごします。戦争報道が新聞・テレビに載っています。身勝手ですが、平和への思いがあります。（田中幸博 美和区長）



美和荒神

東雲山の支え愛マップづくり

大雨・大雪と自然災害も多発しており、さらに長期にわたり、人と人との接触機会が制約されて生活の中の人間関係のつながりが途切れてきています。今！まさに地域に潜在する「困った」に気づき、丁寧に対応していく活動が大切になってきているように思われます。

東雲山町内会では、昨年「支え愛マップ」づくりを取り組むことにしました。「支え愛マップ」とは、災害の時に手助けや声かけを必要とする人・声かけができる人・避難先などの情報をマップにしたものです。取り組みへのご理解をいただくためアンケート調査を行い進め、昨年12月に「支え愛マップ」が完成しました。今年度はこのマップを柱に次への取り組みへ進めていきます。

今年1月、大路地域で行方不明がありました。夕方には無事に見つかり保護され「よかった！」です。「米里地区で支え愛のネットワーク仕組みづくりをどうすればいいのかなあ」と課題になりました。さらに米里地区でも「支え愛マップづくり」を広めていきたいと思っています。ご協力よろしく願いいたします。（大倉健 東雲山自主防災会長、地区自主防災会連絡協議会長）

消防団活動お疲れさまでした

3月20日に消防団入退団式があり、長きにわたり消防団員として地域に貢献していただいたお二人が退団されました。

谷口憲吾さん 25年勤続(うち分団長7年)

山根眞一さん 19年勤続

火事や豪雨の際の出動、早朝の操法訓練や日ごろのポンプや樋門の点検、火災予防の広報など、さらには、地区行事の際にも大きな力となっただき、大変お世話になりました。

